

行きます・聞きます・提案します

～商工会の支援事例～ 10

企業進出から地域密着に至るまでの
トータル支援

(株)A.S.K：中能登町商工会

能登地区初の障害者
就労継続施設A型事業所の
開所を目指して

(株)A.S.Kは、かほく市などで障害者就労継続施設A型事業所（障害者と雇用契約を結び給与を支給）を営んでいます。

中能登町へ進出する前、利用者は遠く七尾市などから通っている状況を見て、同事業所の当時の代表者である鶴見さんは、能登地区に進出したいとの思いを抱き、商工会のネットワークを通じて当方に物件の紹介を依頼されたことが縁で支援がスタートしました。

町の遊休施設の活用を思いつき、町企画課長に直接物件紹介をお願いしたところ、統合により閉校した旧御祖（みおや）小学校の活用を提案いただきました。内見を行うまでわずか二週間という速いスピードでことが進みました。

迅速な対応ができたのは、普段から商工担当である町企画課と連携を密にしながら商工業者を支える体制をつくっていたお陰ではないかと思えます。



惜しまれつつ閉校した
旧御祖（みおや）小学校

想定外の事態発生の中で
仮事業所でのオープンを支援

最初は、スムーズに進むと思われた中能登町への進出でしたが、思わぬ壁に阻まれます。

旧校舎の活用については、文部科学省の許可が必要であり、許可には相当の期間を要することがわかりました。

そこで、許可が出るまで、仮事業所が必要となったことから、旧校舎近くの空き物件探し

や、所有者との交渉は当方が行い、約四か月後の平成二十八年十月、仮事業所として「七施（しちせ）の杜みおや」のオープンにこぎつけました。待望の中能登町への進出となりました。その後、平成二十九年十月に旧小学校に本格移転することができました。



就労者の作業風景
(旧給食ルームにて)

巡回訪問で掴んだニーズを
マッチング

当社の事業運営の成功のカギを握るのは、地域事業者からの受注業務の確保でした。その確保を、他の商工会員のニーズと結びつけることにより実現しようと考えました。

当社から徒歩五分の距離に、地域で長く金網製造業を営む「(有)森本金網製作所」（以下M社とする）があります。

巡回訪問によりM社の課題は、「手狭となった工場の増設」と「人手確保」と掴んでいました。その解決策として、旧小学校

の体育館を工場に活用し、準備工程等の軽作業に当社の労働力を利用するというアイデアを、当社とM社の双方に提案し、合意を得ました。

その実現に向けて、当社・M社・町企画課・M社取引金融機関・商工会による複数回の会議の場を設定し、現在は今夏の工場稼働を目指し計画が動いています。



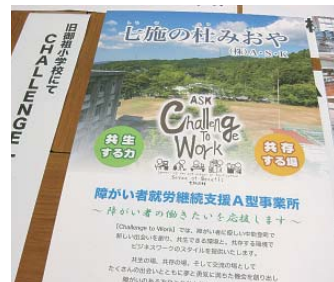
関係者が一堂に会した
会議を企画・実施

地域に愛される事業所を提案

地域住民にとって小学校は地域の象徴。廃校になったとはいえ地域住民にとって愛着ある存在です。

その校舎の活用状況を住民に理解してもらうため、毎年夏に開催される中能登町最大のイベント「中能登町祭」で、商工会が会員事業所の活動を周知し利用を促すために企画・運営している「企業PRブース」の活用を提案しました。

イベント後にも活用できるよ



作成支援を行った
事業PRポスター

担当経営指導員から一言

商工会には長年にわたり築き上げてきた地域のネットワーク（会員事業所・行政・各種団体等）があります。この財産をフル活用し今後も会員事業所の皆様のお手伝いをしてまいります。

担当経営指導員・執筆
中能登町商工会
経営指導員 高田圭一朗

株式会社A.S.K

〒九二九-1633
鹿島郡中能登町高島井部三
TEL 〇五〇-13431-4620

高田指導員の行った(株)A.S.K様への支援は、平成二十九年 度石川県商工会優秀支援事例の最優秀賞を受賞しました。